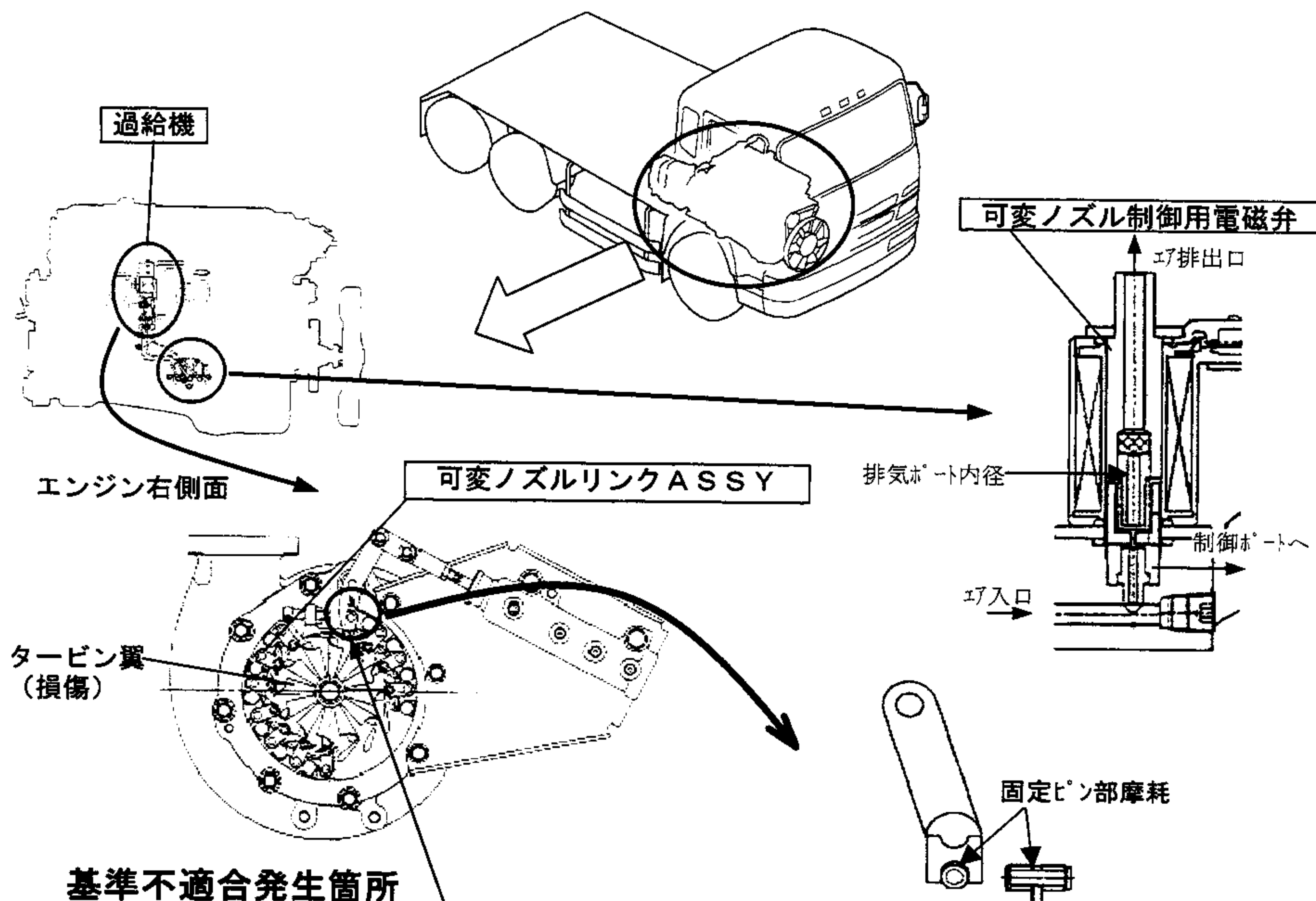


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

原動機の変速ノズル付過給機において、変速ノズルリンク固定ピンの耐摩耗性が不適切なため当該ピンが摩耗し、かつ変速ノズル制御用電磁弁の応答性が悪いため変速ノズル位置が変化し、排出ガス流速が増大することでタービンが過回転となり、そのままの状態で使用をつづけると、タービン翼の一部が損傷して異音及び出力不足が発生し、最悪の場合、原動機への流入空気量が不足し黒煙が基準値を超えるおそれがある。

注：□ は交換部品を示す。

改善前	改善後
可変ノズルリンク部 クランク 固定ピン φ 8 可変ノズル制御用電磁弁 排気ポート内径 φ 1.8mm	可変ノズルリンク部 クランク ローラタイプピン φ 12 可変ノズル制御用電磁弁 排気ポート内径 φ 3.0mm

改善の内容；

①全車両過給圧を点検し、規格値内のは可変ノズルリンクASSYを対策品に、また、規格値を超えているものについては過給機ASSYを対策品に交換する。

②ノズル制御用電磁弁を対策品（応答性改善品）に交換する。

識別：作業完了車には、下記部位へ白色シールを貼付ける。

トラック；運転席側ドアの開口部中央付近。

バス；右後点検リッド内右下隅部付近。